

自立活動学習指導案(細案)

【日時】【 】

【場所】【 】

【指導者】【 】

1. 題材名
気持ちの温度差

2. 題材設定の理由

(1) 生徒観

〇〇さんは、好きなキャラクターの絵を描くことや、ひらがな・カタカナの読み書きができるという強みがあります。学校生活には適応しており、毎日楽しく登校できています。一方で、こだわりが強く特定の行動をやり続ける傾向があり、急な変更があると部屋を飛び出してしまうなど、変化への対応に困難さを抱えています。また、やりたいことができなかつたり、間違いを指摘されるとパニックになるなど、情緒面での不安定さもみられます。事前に見通しが持てるような声かけがあれば活動に参加できる場合もあることから、見通しを立てる支援が効果的であると考えられます。

(2) 題材観

「気持ちの温度差」は、自身の感情の変動に気づき、行動を自制する力を育むことを目的とした題材です。絵に描いた温度計と図解を用いて、怒りの感情が高まる様子を視覚的に理解することで、生徒自身の気持ちの変化を客観的に捉えることを支援します。これは、自立活動における心理的な安定(特に情緒の安定、状況の理解と変化への対応)の育成に直接的に関与します。また、仲間との意見共有を通して、多様な感情表現に触れることで、コミュニケーション能力の向上も期待できます。

(3) 系統性

〇〇さんはこれまで、朝の健康観察でスマイルの絵などを用いて自分の気持ちを確認する活動に取り組んできました。本題材は、この経験を基に、感情の理解とコントロールという、より高度なレベルの学習へと繋げるものです。これまでの絵を用いた気持ちの表現方法に加え、温度計を使った視覚的な表現方法を学ぶことで、多様な表現方法を習得し、自分の気持ちをより適切に表現できるようになることを目指します。本単元で培った感情コントロールの力は、将来の社会生活において、予期せぬ変化への対応や人間関係の構築に役立つと考えられます。

(4) 指導観

〇〇さんが安心して学習に取り組めるよう、仲間と意見を出し合いながら共有する学習活動を通して、安心できる雰囲気づくりを心がけます。急な変更や予期せぬ出来事に対してパニックを起こしやすい〇〇さんの特性を考慮し、事前に学習の見通しを伝え、安心して活動に取り組めるように配慮します。また、〇〇さんの発言や行動を丁寧に受け止め、肯定的な言葉で励ますことで、自己肯定感を高め、学習意欲の向上を図ります。

3. 指導計画(単元計画)

- 第1時: 気持ちの変化に気づくことを学ぶ。
- 第2時: 気持ちの温度計を知る。
- 第3時: 気持ちの温度計で自分の気持ちを表現する。
- 第4時: 気持ちの温度差を共有する。
- 第5時: 気持ちの温度差への対応を考える。

4. 本時について

(1) 本時の目標及び評価

| 評価規準 | 評価基準◎ | 評価基準○ | 評価基準△ | 評価方法 |
|-----------------------------|---|--|------------------------|------------------|
| 自分の気持ちの温度を温度計の絵に描き込んで表現できる。 | 複数の場面における自分の気持ちの温度を、適切に温度計の絵に描き込んで表現することができる。 | いくつかの場面における自分の気持ちの温度を、温度計の絵に描き込んで表現することができる。 | 温度計の絵に描き込んで表現することが難しい。 | 活動の様子の観察 |
| 自分の気持ちの温度を言葉で表現できる。 | 複数の場面における自分の気持ちの温度を、適切な言葉で表現することができる。 | いくつかの場面における自分の気持ちの温度を、言葉で表現することができる。 | 言葉で表現することが難しい。 | 活動の様子の観察、発言内容の記録 |

(2) 本時の展開

| 過程 | 活動内容 | 指導上の留意点 |
|----|--|---|
| 導入 | はじまりの歌を歌う。前回の授業内容を振り返る(気持ちの温度計について)。 | 落ち着いた雰囲気を作る。前回の学習内容を想起させるような視覚的な資料(温度計の絵など)を用意する。 |
| 展開 | 1. 具体的な場면을提示する(例: 友達と遊園地に行く約束をしていたが、当日、友達が熱を出して行けなくなった時、など)。 2. 各場面における自分の気持ちの温度を想像し、温度計の絵に描き込む。 3. 温度計に描き込んだ気持ちの温度を、言葉でも表現する。 | * 見通しが持てるように手順書を用意する。 * 場면을絵カードで提示するなど、視覚的な工夫をする。 * 温度計の絵を大きく分かりやすくする。 * 指示は一度に一つずつ出す。 * ○○さんのペースに合わせて進める。 * 肯定的な声かけを心がける。 |

| | | |
|-------------|---|--|
| ま と め | 1. 本時の活動を振り返る。 2. 楽しい時の温度を一斉に出し、今の気持ちを友達と共有する。 | |
|-------------|---|--|